



平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月10日

上場会社名 株式会社 竹内製作所
 コード番号 6432 URL <http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 明雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 小林 修

TEL 0268-81-1200

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	52,336	12.2	8,269	15.3	8,361	0.1	5,788	6.0
29年2月期第2四半期	46,625	0.5	9,765	3.6	8,357	14.2	5,460	11.5

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 5,186百万円 (50.9%) 29年2月期第2四半期 3,437百万円 (45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	121.39	
29年2月期第2四半期	113.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	90,101	64,026	71.1
29年2月期	83,085	60,080	72.3

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 64,026百万円 29年2月期 60,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		26.00	26.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	8.4	12,650	5.6	12,700	8.3	8,800	13.4	184.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	48,999,000 株	29年2月期	48,999,000 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	1,309,568 株	29年2月期	1,311,158 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	47,688,548 株	29年2月期2Q	48,046,257 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法

当社は、平成29年10月19日に機関投資家及び証券アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。なお、当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第2四半期連結累計期間の経済は、米国では、労働市場の回復を背景にした個人消費の底堅い成長が持続したことに加えて、設備投資の回復も明確になったことにより、景気は緩やかな拡大が持続しました。英国は、EU離脱交渉の不確実性が残る中、個人消費の減速により、景気の拡大ペースは鈍化してきました。その他欧州は、雇用情勢の改善を受けた個人消費が堅調に推移したことに加えて、投資の回復も加わり、景気の拡大基調がユーロ圏のほぼ全域に広がってきました。

このような環境の中で当社グループは、米国及び欧州とも販売網の拡充や需要が増加したことにより、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの当第2四半期連結累計期間の販売台数は、前年同期に比べ増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は523億3千6百万円（前年同期比12.2%増）になりました。

利益面につきましては、販売台数は増加しましたが、円高によりポンド建て売上の円換算額が減少したこと及び未実現利益額の影響により、営業利益は82億6千9百万円（同15.3%減）となりました。経常利益は、前年同期に比べ為替差損が減少したことにより83億6千1百万円（同0.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を25億7千2百万円計上したことなどにより57億8千8百万円（同6.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

日本では、欧州向けミニショベルの販売台数が増加したことにより、売上高は181億5千2百万円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は販売子会社向けの売上高が減少したことに加えて、円高によりポンド建て売上の円換算額が減少したことにより57億9百万円（同8.6%減）となりました。

② 米国

米国では、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの販売台数が増加したことにより、売上高は259億1千2百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は日本からの製品仕入価格の値上げの影響により8億6千5百万円（同44.0%減）となりました。

③ 英国

英国では、円高でポンド建て売上が為替の影響を受けましたが、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が増加したことにより、売上高は55億7千1百万円（前年同期比13.5%増）、セグメント利益は2億9千3百万円（同52.2%増）となりました。

④ フランス

フランスでは、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が増加したことにより、売上高は26億1千万円（前年同期比31.2%増）、セグメント利益は2億5百万円（同66.5%増）となりました。

⑤ 中国

中国では、油圧ショベルの販売台数が減少したことにより、売上高は8千9百万円（前年同期比76.1%減）、セグメント利益は日本への部品の供給が増加したこと及び貸倒引当金の戻入などがあったことにより、2億2千9百万円（同274.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ70億1千6百万円増加し、901億1百万円となりました。これは主に、たな卸資産が62億2千8百万円減少しましたが、現金及び預金が31億7千5百万円増加及び受取手形及び売掛金が106億8千7百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ30億6千9百万円増加し、260億7千4百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が29億9千7百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ39億4千6百万円増加し、640億2千6百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が57億8千8百万円増加しましたが、配当金の支払により12億4千1百万円減少及び為替換算調整勘定が5億6千2百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ31億6千9百万円増加し、268億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間（平成29年3月1日から平成29年8月31日まで）における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は60億1千7百万円（前年同期比31億6千万円増加）となりました。

これは主に、売上債権の増加額109億2千9百万円などの支出がありましたが、税金等調整前四半期純利益83億6千1百万円、たな卸資産の減少額55億6千2百万円及び仕入債務の増加額34億6千9百万円などの収入によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は6億6千万円（前年同期比3億5百万円減少）となりました。

これは主に、投資有価証券の取得による支出3億円及び有形固定資産の取得による支出2億8千1百万円などの支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は12億4千7百万円（前年同期比18億6百万円減少）となりました。

これは主に、配当金の支払額12億4千万円などの支出によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年4月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日（平成29年10月10日）公表いたしました「平成30年2月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本業績予想における第3四半期以降の為替レートは、1米ドル＝110円、1英ポンド＝146円、1ユーロ＝128円、1人民元＝16.6円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,211	27,386
受取手形及び売掛金	21,490	32,177
商品及び製品	20,159	13,758
仕掛品	1,163	1,087
原材料及び貯蔵品	2,283	2,531
繰延税金資産	2,647	2,022
その他	1,915	1,608
貸倒引当金	△1,593	△1,421
流動資産合計	72,278	79,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,265	5,163
機械装置及び運搬具（純額）	1,484	1,325
土地	2,069	2,077
その他（純額）	414	409
有形固定資産合計	9,234	8,975
無形固定資産	736	699
投資その他の資産		
その他	859	1,296
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	835	1,273
固定資産合計	10,806	10,948
資産合計	83,085	90,101

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,997	19,995
未払法人税等	1,324	1,733
賞与引当金	189	243
製品保証引当金	1,174	1,126
その他	1,997	1,779
流動負債合計	21,683	24,879
固定負債		
役員株式給付引当金	17	22
債務保証損失引当金	86	47
退職給付に係る負債	30	29
その他	1,186	1,095
固定負債合計	1,321	1,195
負債合計	23,005	26,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,632	3,632
資本剰余金	3,631	3,631
利益剰余金	53,327	57,874
自己株式	△1,978	△1,976
株主資本合計	58,612	63,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	24
為替換算調整勘定	1,261	699
退職給付に係る調整累計額	178	140
その他の包括利益累計額合計	1,467	864
純資産合計	60,080	64,026
負債純資産合計	83,085	90,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	46,625	52,336
売上原価	33,224	40,263
売上総利益	13,401	12,073
販売費及び一般管理費		
運搬費	1,100	1,182
製品保証引当金繰入額	374	460
貸倒引当金繰入額	△29	△130
債務保証損失引当金繰入額	-	△37
役員報酬	117	115
給料及び手当	737	767
賞与引当金繰入額	63	68
退職給付費用	7	6
役員退職慰労引当金繰入額	3	-
役員株式給付引当金繰入額	8	7
その他	1,252	1,363
販売費及び一般管理費合計	3,635	3,803
営業利益	9,765	8,269
営業外収益		
受取利息	11	13
受取配当金	30	1
デリバティブ評価益	-	82
その他	50	48
営業外収益合計	92	146
営業外費用		
支払利息	3	1
固定資産除却損	17	29
為替差損	1,469	22
その他	10	0
営業外費用合計	1,500	53
経常利益	8,357	8,361
特別利益		
投資有価証券売却益	5	-
特別利益合計	5	-
税金等調整前四半期純利益	8,362	8,361
法人税、住民税及び事業税	2,218	2,075
法人税等調整額	683	497
法人税等合計	2,901	2,572
四半期純利益	5,460	5,788
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,460	5,788

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	5,460	5,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△2
為替換算調整勘定	△1,995	△562
退職給付に係る調整額	△27	△38
その他の包括利益合計	△2,022	△602
四半期包括利益	3,437	5,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,437	5,186
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,362	8,361
減価償却費	665	604
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△56	△144
賞与引当金の増減額 (△は減少)	52	54
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	80	△22
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△18	△76
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△267	-
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	8	6
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	26	△37
受取利息及び受取配当金	△42	△15
支払利息	3	1
為替差損益 (△は益)	△983	851
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5	-
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△2
固定資産除却損	17	29
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,778	△10,929
たな卸資産の増減額 (△は増加)	906	5,562
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,461	3,469
その他の資産の増減額 (△は増加)	1	△87
その他の負債の増減額 (△は減少)	333	△198
その他	△6	△11
小計	4,758	7,418
利息及び配当金の受取額	42	15
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△1,941	△1,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,857	6,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△5	△5
有価証券の取得による支出	-	△300
有価証券の償還による収入	-	300
有形固定資産の取得による支出	△808	△281
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△88	△75
投資有価証券の取得による支出	△100	△300
投資有価証券の売却による収入	9	-
貸付けによる支出	△0	-
貸付金の回収による収入	0	0
その他	25	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△965	△660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,975	-
自己株式の売却による収入	-	0
配当金の支払額	△1,071	△1,240
リース債務の返済による支出	△6	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,053	△1,247
現金及び現金同等物に係る換算差額	355	△940
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△807	3,169
現金及び現金同等物の期首残高	20,002	23,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,195	26,802

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への 売上高	15,745	23,606	4,909	1,989	374	46,625	—	46,625
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	24,011	0	47	7	544	24,611	△24,611	—
計	39,757	23,607	4,957	1,996	919	71,237	△24,611	46,625
セグメント 利益	6,248	1,546	192	123	61	8,172	1,592	9,765

(注) 1. セグメント利益の調整額1,592百万円には、セグメント間取引消去2,160百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△567百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への 売上高	18,152	25,912	5,571	2,610	89	52,336	—	52,336
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,704	—	26	2	731	23,464	△23,464	—
計	40,856	25,912	5,598	2,612	820	75,800	△23,464	52,336
セグメント 利益	5,709	865	293	205	229	7,302	966	8,269

(注) 1. セグメント利益の調整額966百万円には、セグメント間取引消去1,554百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△587百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。